

令和8年度（2026年度） 浜崎小学校校内研究計画

1 研究主題

○研究主題

『学ぶ楽しさを実感し、主体的に学び続ける児童の育成』

○研究副主題

～各教科等における、ICTの活用を通して～

2 主題設定の主な理由

本校は「一人一人の笑顔が輝く浜崎小」をスローガンに 21 世紀の実生活・実社会で生きて働く力の育成を図っている。また、「進んで学び粘り強く課題に取り組む児童」と「考えを深め本質を究めようとする児童」を目指す児童の姿に掲げ、教育活動に取り組んでいる。さらに、今年度は「思考力・判断力の向上を目指した学びの充実」を重点課題としている。

児童が学ぶ楽しさを実感するためには、唐津市の教育における「4つの感」を感じることが出来る授業実践が大切だと考える。

上記した課題達成のために、考えを表出する場面等での効果的なICTの活用について探っていく。

3 研究目標

既習事項を基に自分の考えをもち、他者の考えと比較したり関連付けたりすることで自分の考えを広げ深めることができる児童を育てる。

4 研究の仮説

自分の考えをもつ過程や表出する場、協働的に考える場でICTを活用することで、児童は各教科等の特質に応じた見方・考え方をより働かせながら思考し、自分の考えを練り上げることができるであろう。

5 目指す児童像（まなびの姿）

- (1) 自分の考えを広げ深めることができる児童
- (2) 他者の考えを理解することができる児童
- (3) 問題解決に必要な情報を集められる児童
- (4) 様々な情報をもとに多面的・多角的に思考し、自分の考えを練り上げる児童

6 研究方法

- (1) 「考えを表出する場」「考えを交流する場」「考えを練り合う場」のいずれかでICTを活用する場面を教師主導で設定する。
- (2) 指導法改善を目指し、全学級で授業実践を行う。

7 組織案

○3部会 **低学年**・**中学年**・**高学年**

*日頃から全学級でICTを活用した授業を行う。



◎学習部の設立

今年度から「校内研究」「ICT教育」等の授業改善を進めていく「学習部」を設立した。学習部の担当者を中心に児童の実態を把握するための調査や分析、授業方法の提案や研修などを行う。

8 授業公開・事後研究会について

ICTを活用した授業を公開する。普段から各学級でICTを活用した授業を行い、2学期には各学年で設定した単元で共通した実践を行う。質疑応答なども交えながら、学びを深めていく。

○授業公開・事後研究会の流れ

交歓会 15:45～16:15 図書室

- (1) 開会・アイスブレイク
- (2) 各学年による授業提案
- (3) 質疑応答
- (4) 意見交換会
- (5) 閉会

9 年間計画

時 期 と 内 容	詳 細
【1学期】 ○研究概要把握 ○児童の実態把握 ○授業実践 ○研究主任授業公開	○研究推進委員会や校内研究を実施し、研究の取り組みを全職員で確認していく。 ○普段の授業中の様子やアンケートから児童の実態を調査し、課題を整理する。 ○ICTを活用した授業実践を行い、効果的な活用について探る。 ○授業のイメージを共有する。
【夏季休業中】 ○授業づくりに関する研修 ○ICTの活用に関する研修 ○準備をする	○授業づくりに関する研修を行う。 ○1学期に取り組んだ活用方法の共有や2学期以降に取り組みたい内容に関する研修を行う。 ○各学年で2学期以降に取り組むICTを活用する単元や教材の研究や準備を行う。
【2学期】 ○授業実践 ○授業公開	○ICTを活用した授業実践を行い、児童も授業者も操作に慣れる。 ○各学年で設定した単元で共通した実践を行う。
【冬季休業中】 ○校内研究まとめ	○各学年の成果と課題をまとめる ○各学級の成果と課題をまとめる。
【3学期】 ○授業実践 ○校内研究まとめの共有 ○次年度に向けて	○ICTを活用した授業実践を行い、効果的な活用について探る。 ○各学年・各学級の実践を共有し、ICTの効果的な活用について考えを深める。 ○児童アンケートを実施する ○職員アンケートを実施する